

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月18日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス

コード番号 4929 URL https://www.adjuvant-hd.co.jp/

代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）中村 豊

問合せ先責任者（役職名）管理本部本部長（氏名）惣田 健 TEL 078-351-3135

半期報告書提出予定日 2024年10月25日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無： 有

決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年3月21日～2024年9月20日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	2,079	△6.1	55	ー	55	ー	18	ー
2024年3月期中間期	2,213	1.9	△92	ー	△87	ー	△140	ー

（注）包括利益 2025年3月期中間期 25百万円（-％） 2024年3月期中間期 △137百万円（-％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	2.28	ー
2024年3月期中間期	△17.62	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	5,223	4,158	79.6	518.85
2024年3月期	5,277	4,216	79.9	527.07

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 4,158百万円 2024年3月期 4,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	0.00	ー	12.00	12.00
2025年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2025年3月期（予想）	ー	ー	ー	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年3月21日～2025年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,640	4.6	163	ー	163	857.8	79	ー	9.99

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	8,043,600株	2024年3月期	8,043,600株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	28,203株	2024年3月期	43,003株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	8,006,388株	2024年3月期中間期	7,991,343株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3頁「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当中間連結会計期間の末日現在において判断したものです。

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2024年3月21日～2024年9月20日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に、内需を中心に景気は足踏み状態を抜け出し、緩やかな景気回復を維持しました。一方で、グローバルな地政学リスクやインフレによる景気減速リスクは依然として高まっており、日本国内でも人件費や物流コストの増加などに伴う物価上昇による個人消費への影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況が続いています。

美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちらしく”など、個性を重視する時代へと変化しています。不安定な市場や物価高の影響下に於いても美容消費は維持・微増の傾向がみられ、心豊かな生活を目指す方々にとって美容業界は重要な存在となっています。

このような経営環境のもと、当社グループは、社員、代理店様、サロン様、お客様との「共創」をテーマに、社内外に向けて「美と健康を通じてすべての人に夢と感動をお届けする」という経営理念を浸透させ、ブランドの強化やトレンドを踏まえた製品開発・顧客消費マインドをプラスにする応援への取り組みを進めています。

当中間連結会計期間の連結売上高は、2,079百万円（前年同期比6.1%減）となりました。オンライン環境や営業管理プラットフォームなど、営業活動の効率化を図る環境改善に加えて社員への浸透促進活動に取り組みましたが、減少する結果となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、アジュバンサロン実稼働軒数は、8,301軒（前年同期比242軒増）となりました。

利益面におきましては、売上高の減少はありましたが、広告宣伝費、販売促進費、研究開発費などの減少により、営業利益55百万円（前年同期は営業損失92百万円）、為替差損、受取配当金などにより、経常利益55百万円（前年同期は経常損失87百万円）となりました。また、投資有価証券の譲渡による特別利益12百万円の計上により、親会社株主に帰属する中間純利益は18百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失140百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
スキンケア	849	38.4	782	37.6	△66	△7.8
ヘアケア	1,394	63.0	1,359	65.3	△35	△2.5
その他	142	6.5	105	5.1	△37	△26.3
売上割戻金	△173	△7.8	△167	△8.0	5	—
合計	2,213	100.0	2,079	100.0	△134	△6.1

（注）1. ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアール・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高は、「その他」に含んでいます。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
国内売上高	2,105	95.1	1,987	95.6	△118	△5.6
海外売上高	108	4.9	92	4.4	△15	△14.7
合計	2,213	100.0	2,079	100.0	△134	△6.1

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、新スキンケア大型ブランド「TOUQU to tone (トーク トゥ トーン)」の上市(2024年4月)がありましたが、スペシャルケアブランド「AE Rich (エーイーリッチ)」などの下降をリカバリーすることができず前年同期を下回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は782百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、昨年リニューアルした頭皮用エッセンス「KASUIプレミアムエッセンス」の売上が好調だったものの、昨年6月に上市したアウトバス・スタイリング剤ブランド「muts hair touch (ミューツ ヘア タッチ)」が前年同期を下回りました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は1,359百万円(前年同期比2.5%減)となりました。

(その他)

株式会社2C(連結子会社)は、過去購入実績者に対するキャンペーン展開などのCRM施策や新規顧客増加を企図したWeb集客導線の見直しを実施してまいりましたが、効果は未だ限定的となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は105百万円(前年同期比26.3%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して53百万円減少の5,223百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して119百万円減少の3,468百万円となりました。主な変動要因は、棚卸資産71百万円の減少、現金及び預金69百万円の減少、その他流動資産16百万円の減少、売掛金38百万円の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して65百万円増加の1,755百万円となりました。主な変動要因は、投資有価証券96百万円の増加、有形固定資産26百万円の減少、無形固定資産3百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末と比較して4百万円増加の1,065百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1百万円減少の607百万円となりました。主な変動要因は、買掛金53百万円の増加、未払法人税等27百万円の増加、賞与引当金14百万円の減少、その他流動負債67百万円の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して6百万円増加の457百万円となりました。主な変動要因は、リース債務2百万円の増加、資産除去債務1百万円の増加、退職給付に係る負債1百万円の増加などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して58百万円減少の4,158百万円となりました。主な変動要因は、配当金の支払による減少96百万円、親会社株主に帰属する中間純利益18百万円、自己株式の処分11百万円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて69百万円減少し、当中間連結会計期間末には2,049百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は120百万円(前年同期は45百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益67百万円、減価償却費62百万円、棚卸資産の減少71百万円、売上債権の増加38百万円、法人税等の支払額31百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は87百万円(前年同期は104百万円の収入)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出201百万円、投資有価証券の売却による収入115百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は100百万円(前年同期は195百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額96百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期業績予想(2024年3月21日~2025年3月20日)につきましては、2024年4月19日に公表しました業績予想からの変更はありません。

なお、今後の業績推移等によって通期連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,118,760	2,049,405
売掛金	405,697	444,228
商品及び製品	743,249	701,591
仕掛品	49,283	47,683
原材料及び貯蔵品	203,181	174,703
その他	71,367	55,037
貸倒引当金	△3,698	△4,070
流動資産合計	3,587,841	3,468,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,208,549	1,199,486
土地	579,283	579,283
その他	472,786	462,267
減価償却累計額	△857,306	△863,988
有形固定資産合計	1,403,312	1,377,047
無形固定資産		
	53,404	49,710
投資その他の資産		
投資有価証券	105,289	201,933
長期貸付金	1,734	2,900
その他	131,713	129,402
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	233,007	328,506
固定資産合計	1,689,725	1,755,263
資産合計	5,277,566	5,223,842
負債の部		
流動負債		
買掛金	111,665	164,969
未払法人税等	35,439	62,508
賞与引当金	104,092	89,289
その他	357,801	290,545
流動負債合計	608,999	607,312
固定負債		
退職給付に係る負債	46,418	47,789
資産除去債務	25,638	27,482
長期未払金	356,345	356,345
その他	23,300	26,119
固定負債合計	451,702	457,736
負債合計	1,060,702	1,065,049

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月20日)	当中間連結会計期間 (2024年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	750,475	752,200
利益剰余金	2,720,576	2,642,793
自己株式	△32,540	△21,330
株主資本合計	4,215,090	4,150,243
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,895	995
為替換算調整勘定	△1,122	7,554
その他の包括利益累計額合計	1,773	8,550
純資産合計	4,216,864	4,158,793
負債純資産合計	5,277,566	5,223,842

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
 (中間連結損益計算書)
 (中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
売上高	2,213,804	2,079,772
売上原価	776,154	734,465
売上総利益	1,437,649	1,345,307
販売費及び一般管理費	1,530,318	1,289,975
営業利益又は営業損失(△)	△92,668	55,331
営業外収益		
受取利息	532	185
受取配当金	117	5,412
為替差益	23,300	—
受取家賃	300	700
雑収入	2,091	3,518
営業外収益合計	26,342	9,817
営業外費用		
保険解約損	20,726	—
為替差損	—	9,976
雑損失	—	118
営業外費用合計	20,726	10,094
経常利益又は経常損失(△)	△87,052	55,054
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,686
リース債務取崩益	3,142	—
特別利益合計	3,142	12,686
特別損失		
固定資産除却損	2,894	—
特別損失合計	2,894	—
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△86,804	67,740
法人税、住民税及び事業税	26,689	59,575
法人税等調整額	27,287	△10,059
法人税等合計	53,977	49,516
中間純利益又は中間純損失(△)	△140,781	18,224
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△140,781	18,224

(中間連結包括利益計算書)
(中間連結会計期間)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
中間純利益又は中間純損失 (△)	△140,781	18,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,553	△1,900
為替換算調整勘定	△1,030	8,677
その他の包括利益合計	3,522	6,776
中間包括利益	△137,258	25,001
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△137,258	25,001
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)	当中間連結会計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	△86,804	67,740
減価償却費	52,851	62,215
特許権償却	137	137
株式報酬費用	7,350	7,129
貸倒引当金の増減額(△は減少)	598	371
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,561	△14,803
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△169	1,371
受取利息及び受取配当金	△649	△5,598
為替差損益(△は益)	△23,300	9,976
保険解約損益(△は益)	20,726	—
固定資産除却損	2,894	—
リース債務取崩益	△3,142	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△12,686
売上債権の増減額(△は増加)	△91,311	△38,530
棚卸資産の増減額(△は増加)	90,619	71,736
仕入債務の増減額(△は減少)	98,409	53,303
その他	5,206	△56,714
小計	78,976	145,648
利息及び配当金の受取額	649	5,598
法人税等の支払額	△34,622	△31,091
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,004	120,156
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△44,141	△4,633
無形固定資産の取得による支出	△4,005	△7,540
投資有価証券の取得による支出	△100,027	△201,749
投資有価証券の売却による収入	200,000	115,054
保険積立金の積立による支出	△1,727	—
保険積立金の解約による収入	54,766	—
その他	△767	11,804
投資活動によるキャッシュ・フロー	104,097	△87,064
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,239	△4,100
配当金の支払額	△191,854	△96,007
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,093	△100,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,195	△2,339
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△24,796	△69,354
現金及び現金同等物の期首残高	1,528,011	2,118,760
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,503,215	2,049,405

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。